

令和 7 年度 長岡市立図書館の活動評価

長岡市立中央図書館

令和7年度 長岡市立図書館の活動評価について

1 評価の趣旨

図書館法第7条の3の規定に基づき、令和7年度の長岡市立図書館の活動について、次のとおり評価を実施した。評価は、指標に基づく内部評価と長岡市図書館協議会委員による外部評価から構成される。

2 評価の項目

(1) 基本評価（数値目標に対する達成率評価）

数値目標に対する達成率によって評価を行う。

① 利用状況

個人貸出冊数、予約件数、有効登録者数、実登録者数、郷土資料受入点数、窓口対応満足度、大活字本の所蔵冊数

（中央図書館入館者数、登録率、中央図書館開館日数、特別資料の転載等許可件数、新規購入冊数の割合は参考数値とする。）

② 管理運営費

図書館費及びその内訳は参考数値とし、評価を行わない。

(2) 重点事項評価

長岡市立図書館の運営方針における重点事項について、重点事業の実績をもとに評価を行う。ただし、項番6と7は内部評価のみとする。

令和7年度重点事項

- 1 当市をはじめとする郷土に関する各種資料等の収集・保存・活用に努める。
- 2 課題解決に向けた資料及びサービスの充実を図るとともに、利便性の向上に取り組む。
- 3 積極的な広報や各種機関などとの連携を進め、本と人をつなぐ、様々な事業を実施し、利用者の拡大を図る。
- 4 長岡市子ども読書活動推進計画に基づき、子どもや若者が本に親しむ環境づくりに取り組む。
- 5 互尊文庫の独自運営方針を尊重し、資料面や運営面の協力を行う。
- 6 市民の要望・意見を広く取り上げ、図書館運営に反映させる。
- 7 勉強会や職場内研修をはじめ様々な研修機会を確保し、図書館職員の資質の向上を図る。

3 評価の方法

(1) 図書館の内部評価

- ・項目ごとに数値目標と比較するなどして算定し、評価する。
- ・「基本評価」、「重点事項評価」とともに、AAからCまでの4段階の評価とする。

区 分	評価区分・内容
基本評価	AA … 数値目標を大きく上回った。(＋10%超) A … 数値目標を達成・上回った。(0～＋10%) B … 数値目標を下回った。(0未満～－10%) C … 数値目標を大きく下回った。(－10%超)
重点事項評価	AA … 優れた取組が多く、十分成果が上がっている。 A … 優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている B … 一定の成果は上がっているが、工夫等が必要である。 C … 成果が上がっておらず、改善や見直しが必要である。

(2) 図書館協議会による評価

○ 協議会の開催

- ・日 時 令和8年2月24日（火曜日）
- ・会 場 長岡市立中央図書館 講座室1

○ 協議会の意見のとりまとめ

- ・上記協議会における各委員の意見を委員長がとりまとめ、図書館協議会による評価とする。

4 評価の概要

基本評価は、評価対象の7項目中、前年度はA評価が1項目、B評価が5項目、C評価が1項目であったが、今年度は、B評価が6項目、C評価が1項目となった。

重点事項評価は、事業別評価の19項目すべてがA評価であり、総括評価では、7項目すべてがA評価であった。

このことから、基本評価ではA評価がなくなり、数値的には昨年度を下回ったが、人口減少や予算減による購入冊数の減少は全国的にも見られる傾向であり、これらの影響をふまえると、数値の低下が直ちにサービスの質の低下を示すものとはいえない。

一方、事業においては子ども読書活動推進強化などの取組が進められており、これらはサービス向上や利用者への還元につながるものと評価できる。

5 図書館協議会意見

(1)「基本評価」について

- ・ 内部評価のとおりとする。
- ・ 有効登録者数及び実登録者数の減少については、年代別の動向分析を行い、今後の利用拡大に向けた対応策の検討が望まれる。

(2)「重点事項評価」について

1 当市をはじめとする郷土に関する各種資料等の収集・保存・活用に努める。

→総括評価 A

- ・ 内部評価のとおりとする。

2 課題解決に向けた資料及びサービスの充実を図るとともに、利便性の向上に取り組む。

→総括評価 A

- ・ 内部評価のとおりとする。

3 積極的な広報や各種機関などとの連携を進め、本と人をつなぐ、様々な事業を実施し、利用者の拡大を図る。

→総括評価 A

- ・ 内部評価のとおりとする。

4 長岡市子ども読書活動推進計画に基づき、子どもや若者が本に親しむ環境づくりに取り組む。

→総括評価 A

- ・ 内部評価のとおりとする。

5 互尊文庫の独自運営方針を尊重し、資料面や運営面の協力を行う。

→総括評価 A

- ・ 内部評価のとおりとする。

6 市民の要望・意見を広く取り上げ、図書館運営に反映させる。

→総括評価 A

- ・ 内部評価のとおりとする。

7 勉強会や職場内研修をはじめ様々な研修機会を確保し、図書館職員の資質の向上を図る。

→総括評価 A

- ・ 内部評価のとおりとする。

【目次】

I 基本評価について

1 利用状況	6
2 管理運営費	7

II 重点事項評価について

1 当市をはじめとする郷土に関する各種資料等の収集・保存・活用に努める。

(1) 重点事業の事業別評価について	8
(2) 重点事業の総括評価について	9
(3) 個別事業の実施結果について	10
① 貴重資料の活用	10
② 郷土資料の充実	11
③ 古文書等の歴史文書の収集・保存・活用	12
④ 歴史公文書の収集・保存	13
⑤ 長岡市災害復興文庫の収集・保存・活用	14

2 課題解決に向けた資料及びサービスの充実を図るとともに、利便性の向上に取り組む。

(1) 重点事業の事業別評価について	15
(2) 重点事業の総括評価について	15
(3) 個別事業の実施結果について	16
① 図書館蔵書の充実	16
② レファレンスサービス（調べもの相談）の充実	17
③ 図書館の環境整備	18

3 積極的な広報や各種機関などとの連携を進め、本と人をつなぐ、様々な事業を実施し、利用者の拡大を図る。

(1) 重点事業の事業別評価について	19
(2) 重点事業の総括評価について	20
(3) 個別事業の実施結果について	20
① 広報について	20
② 各種機関と連携した事業の実施	21
③ 地域における特色資料や地域の特色を生かした事業の実施	22

4 長岡市子ども読書活動推進計画に基づき、子どもや若者が本に親しむ環境づくりに取り組む。

(1) 重点事業の事業別評価について	24
(2) 重点事業の総括評価について	24
(3) 個別事業の実施結果について	26
① 子ども読書活動推進計画関連事業の実施	26
② 子ども向け図書館サービスの充実	27
③ 学校等への図書館サービスの実施	29

5 互尊文庫の独自運営方針を尊重し、資料面や運営面の協力を行う。

(1) 重点事業の事業別評価について	30
(2) 重点事業の総括評価について	30
(3) 個別事業の実施結果について	30

6 市民の要望・意見を広く取り上げ、図書館運営に反映させる。

(1) 重点事業の事業別評価について	31
(2) 重点事業の総括評価について	31
(3) 個別事業の実施結果について	32
① 利用者アンケートの実施	32
② 友の会事業	33

7 勉強会や職場内研修をはじめ様々な研修機会を確保し、図書館職員の資質の向上を図る。

(1) 重点事業の事業別評価について	34
(2) 重点事業の総括評価について	34
(3) 個別事業の実施結果について	35
① 外部研修・遠隔研修	35
② 職場内研修	36

I 基本評価について

1 利用状況

項 目	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度		達成率 (%)	評 価
			達成目標値	年度末実績		
入館者数 (中央図書館・人)	246,593	223,420	—	220,614		参 考 数 値
個人貸出冊数(冊)	1,494,177	1,436,801	1,437,000	1,340,195	93.26	B
予約件数(件)	257,499	256,265	257,000	251,590	97.89	B
有効登録者数(人)	37,958	38,137	38,200	37,302	97.65	B
登録率(%)	14.79	15.02	—	14.87		参 考 数 値
実登録者数(人)	27,227	26,707	26,800	24,986	93.23	B
登録率(%)	10.61	10.52	—	9.96		参 考 数 値
中央図書館開館日数	304	285	—	267		参 考 数 値
特別資料の転載等許可 件数	84	45	—	28		参 考 数 値
郷土資料受入点数	1,962	1,563	1,600	1,309	81.81	C
窓口対応満足度(大変 よい+よい)%<中央 館のみ>	83.1	83.6	85.8	79.1	92.19	B
大活字本の所蔵冊数	6,380	6,234	6,300	6,280	99.68	B
新規購入冊数の 割合	7.2% [60,633 冊]	2.9% [23,733 冊]	—	2.1% [17,679 冊]		参 考 数 値

*有効登録者数は貸出カード有効期限内の登録者数

*実登録者は有効登録者のうち年度内に1度以上貸出のあった登録者数

2 管理運営費

(決算額：千円)

項 目	令和5年度	令和6年度	令和7年度	評価
図書館費	371,409	421,627	400,571	
(うち施設管理経費)	253,514	288,737	298,183	
(うち資料費)	47,597	45,188	40,966	
(うち事業費)	70,298	87,702	61,422	

※米百俵プレイスミライエ長岡内 互尊文庫除く

Ⅱ 重点事項評価について

1 当市をはじめとする郷土に関する各種資料等の収集・保存・活用に努める。

(1) 重点事業の事業別評価について

①貴重資料の活用

事業概要	・貴重資料を定期的にエントランスで展示する。 ・貴重資料をホームページやFacebookで紹介する。 ・貴重資料に親しむ講座を開催する。	
評価	A	評価理由
		・貴重資料をエントランス展示やFacebook等で公開したほか、講座を開催し、多くの利用者に親しんでもらうことができた。

②郷土資料の充実

事業概要	・各種出版情報等から情報収集を行い、郷土資料を積極的に収集する。	
評価	A	評価理由
		・長岡市内の郷土資料を中心に、購入・寄贈併せて収集業務を行い、より一層の充実を図った。

③古文書等の歴史文書の収集・保存・活用

事業概要	・古文書等の歴史文書の寄贈・寄託を受け、市民の閲覧に供するため、順次公開する。 ・各種講座・講演会及び展示会の開催、長岡市史双書の刊行などを行う。	
評価	A	評価理由
		・古文書等の歴史文書の適切な収集・整理・保存・活用に努め、市民に向けて目録を公開し、長岡市史双書の刊行や市民からの閲覧・調査相談などでの活用を進めることができた。 ・昨年度並みの利用者数を維持し、講演会や展示会など積極的に開催した。

④歴史公文書の収集・保存

事業概要	・市役所の非現用文書（廃棄文書）を歴史公文書（歴史的資料）として、収集・整理・保存のうえ、目録を作成する。	
評価	A	評価理由
		・庶務課等の関係各課と連携して、歴史公文書の適切な収集・整理・保存に努め、予定した対象資料を収集することができた。

⑤長岡市災害復興文庫の収集・保存・活用

事業概要	・被災歴史資料と中越大震災・東日本大震災等の災害復興関連資料の収集・整理・保存・活用を図る。 ・国立国会図書館東日本大震災アーカイブ（愛称：ひなぎく）と、データの追加更新を行う。 ・長岡市資料整理ボランティアの活動を支援する。 ・刊行物の発行などを通して、県内外に情報発信を行う。	
評価	A	評価理由
		・長岡市資料整理ボランティアと市民協働で資料整理を行い、国立国会図書館東日本大震災アーカイブひなぎくへの追加掲載等の関係機関との連携を進めることができた。これにより、長岡市災害復興文庫の保存・活用及び災害対応の経験・教訓の全国発信につなげることができた。

（２）重点事業の総括評価について

総括評価	評価理由
A	・貴重資料を有効に展示活用するとともに、話題の本も含め幅広い郷土資料の収集に努めた。また、講座等の開催、刊行物の発行、長岡市資料整理ボランティアや関係機関・団体との連携などを通して、古文書等、歴史公文書、長岡市災害復興文庫の整理・保存・活用と情報発信を行うことができた。

(3) 個別事業の実施結果について

① 貴重資料の活用

＜目的・概要＞	
・貴重資料を定期的にエントランスで展示する。 ・貴重資料をホームページやFacebookで紹介する。 ・貴重資料に親しむ講座を開催する。	
エントランス展示	図書館資料に親しむ講座
 ▲ 8 月 戦後 80 年	 ▲ 講座の様子
＜実績＞	
1. エントランス展示 貴重資料の展示をエントランスで9回（R8.1月末現在）行い、ホームページでも周知した。 【4月】大河ドラマ「べらぼう」登場の版本の復刻版と類書2点、【5月】山本帯刀生誕180年3点ほか関連図書6点、【6月】野本恭八郎と長岡の図書館6点ほか関連図書1点、【7月】版本『おくの細道』1点、【8月】戦後80年 絵画4点、【9月】江戸時代の版本3点、【10月】三島億二郎生誕200年15点、【11月】版本『養生法』2点、【12・1月】堀口九萬一生誕160周年5点ほか関連図書1点、【1・2月】浦上義昭 日本画「単行」1点 ※貴重資料アーカイブ「ながおかネット・ミュージアム」、新潟県立図書館「越後佐渡デジタルライブラリー」でも貴重資料を公開した。 2. 貴重資料に親しむ講座の開催 図書館の貴重資料をテキストに、テーマを変えて「くずし字事始め」を2回開催した。 ① 11月18日「百人一首を読んでみよう～」23人参加 ② 11月26日「くずし字で読む源氏物語～湖月抄より～」23人参加 3. 貴重資料の主な貸出 ・新潟市歴史博物館「戦場の町と村 新潟市と戊辰戦争」 戊辰戦争関係資料4点 ・栃尾美術館「言霊の墨 金澤翔子の世界展」 金澤翔子/書 1点	

＜課題・今後の方向性＞

- ・ エントランス展示は、足を止めて見ていただけるよう、話題性のあるものや市民の関心が高いものなど、充実した展示になるよう工夫をしていきたい。

② 郷土資料の充実

＜目的・概要＞

- ・ 長岡市内の郷土資料を中心に、新潟県内の郷土資料について、より一層の充実を図る。
- ・ 新聞、雑誌、書店、SNS などから、幅広く出版情報を収集する。
- ・ 市役所各課で発行する行政資料を収集する。
- ・ 古書目録等から情報を収集するなど、郷土資料を積極的に収集する。

＜実績＞

	全館郷土資料蔵書数	前年度比増加冊数
令和4年度	104,003 冊	50 冊
令和5年度	105,330 冊	1,327 冊
令和6年度	106,657 冊	1,170 冊
令和7年度	107,827 冊	1,309 冊

- ・ 郷土資料に興味をもってもらうため、書架のスペースを空け、表紙の面出ししを増やした。
- ・ 閉館した「きおくみらい」から、現在購入が難しい郷土資料の受け入れを行った。

＜課題・今後の方向性＞

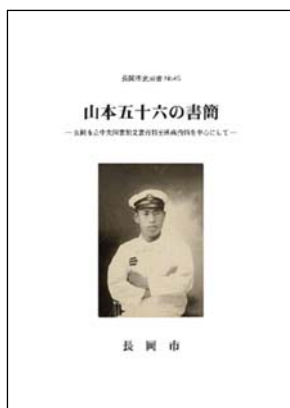
- ・ 足を運びにくい場所にある郷土コーナーを一人でも多く利用してもらえるよう、配架方法やテーマ展示など、工夫に努める。

③ 古文書等の歴史文書の収集・保存・活用

<目的・概要>

- ・古文書等の歴史文書の寄贈・寄託を受け、市民の閲覧に供するため順次公開する。
- ・郷土の歴史文書を守るため、歴史文書の取扱いについて相談を受け付ける。
- ・郷土長岡の歴史を知り、愛着をもってもらうため、歴史文書館が所蔵する郷土資料を活用し、各種講座・講演会及び展示会を開催し、長岡市史双書を刊行する。

長岡市史双書No.45(再販)



古文書解読講座「古文書のいろは」



<実績>

- ・古文書等の歴史文書の保存・公開に努めた。古文書等の歴史文書を活用し、講座・講演会及び展示会の開催、長岡市史双書の刊行を行い、郷土長岡の歴史を知る機会を市民に提供した。
- ・新たに公開した古文書等の歴史文書の寄贈件数 25件【昨年度9件】
- ・歴史文書の取扱い相談受付数 16件【昨年度11件】
- ・講座・講演会の開催（会場：歴史文書館） ※【】は昨年度

講座・講演会名	回数	参加人数
れきぶん講演会	1回	37【87】人
古文書解読講座「古文書のいろは」（初心者向け）	3回	101【108】人
古文書解読講座「古文書に見る長岡のすがた」（経験者向け）	3回	139【159】人
長岡市史双書を読む会	2回	66【34】人
親子れきし教室（新規）	1回	1組

- ・展示会の開催（会場：歴史文書館）

展示会名	回数	展示タイトル（開催月）
常設展	3回	「めくるめく長岡市民劇場の世界」（4～6月）
		「手紙が語る戦争～戦地からの手紙、戦地への手紙～」(7・8月)
		「三島郡才津村大森家資料の世界」（1～3月）
企画展	1回	「長岡市資料整理ボランティア発足 20年 地域で残す 地域の資料 私たちにできること」(10・11月)

- ・長岡市史双書 No.45「山本五十六の書簡 一長岡市立中央図書館文書資料室所蔵資料を中心にし て一」（再販 300部）

<課題・今後の方向性>

- ・「れきぶん講演会」、各種講座や展示等を積極的に開催していく。講演会・講座の参加者を一定数確保するため、引き続き、各種事業の周知方法や興味関心を引き出す内容づくり等を十分検討していきたい。
- ・古文書等の歴史文書は、所有者の家の建て替えや代替わりで、個人での保存が難しく、そのまま寄贈となる例が多い。今後も、受け入れ件数の増加が見込まれることから、保管場所の確保と計画的な整理・公開をさらに進めていく必要がある。また、古文書解読講座等の主催行事の機会をとらえて、歴史文書を後世に伝えていくための意識付けを図る普及活動も行っていきたい。
- ・普及活動の周知や事業実施協力依頼等を通じて、引き続き、学校、コミュニティセンター及び市内の歴史関連施設との連携をさらに推進していきたい。

④ 歴史公文書の収集・保存

<目的・概要>

- ・長岡市役所の非現用文書（廃棄文書）を歴史公文書（歴史的資料）として、収集・整理・保存する。
- ・災害復興関連の歴史公文書を長岡市災害復興文庫として整理する。

歴史公文書の保存箱



歴史公文書の整理作業



<実績>

- ・歴史公文書の目録件数 577件
うち長岡市災害復興文庫の歴史公文書 25件 ※令和8年5月10日時点
- ・保管場所：旧半蔵金小学校・旧種芋原小学校・浦瀬町倉庫・各支所など
- ・歴史公文書（特別閲覧対応）の問合せ件数 4件【前年度4件】

<課題・今後の方向性>

- ・ 歴史公文書の収集・保存に関する基準を再検討する。
- ・ 電子化された公文書の収集・保存方法を検討する。
- ・ 市内に分散する資料保管施設の集約・整備を進めていく。

⑤ 長岡市災害復興文庫の収集・保存・活用

<目的・概要>

- ・ 災害と復興の経験・教訓を後世に伝える。
- ・ 被災歴史資料と中越大震災・東日本大震災等の災害復興関連資料の収集・整理・保存・活用を図る。
- ・ 国立国会図書館東日本大震災アーカイブ（愛称：ひなぎく）と、データの追加更新を行う。
- ・ 長岡市資料整理ボランティアの活動を支援する。
- ・ 機関誌やホームページなどを通して、県内外に情報発信を行う。

長岡市資料整理ボランティア（古文書整理）



長岡市資料整理ボランティア（新聞資料整理）



<実績>

- ・ 長岡市資料整理ボランティアは、延べ14回【昨年度14回】活動、延べ230人【昨年度211人】の参加があった。
- ・ 国立国会図書館東日本大震災アーカイブ「ひなぎく」に写真データを提供した。
- ・ 十日町市古文書整理ボランティアとの交流会を行った。

<課題・今後の方向性>

- ・ 引き続き、講演会や展示会の開催等を通して、「長岡市災害復興文庫」を情報発信する取り組みを推進する。
- ・ 県内外の文書館・図書館・博物館などとのネットワークを構築し、長岡市資料整理ボランティアや新潟歴史資料救済ネットワークなどにより一層の連携を図っていく。

2 課題解決に向けた資料及びサービスの充実を図るとともに、利便性の向上に取り組む。

(1) 重点事業の事業別評価について

①図書館蔵書の充実

事業概要	・市民の多様なニーズに対応する図書、雑誌等の収集、活用、保存に努める。 ・小規模な地域図書館の蔵書の充実を図る。 ・テーマ展示等で蔵書の活用を図る。	
評価	A	評価理由
		・中央図書館や、地域館の蔵書について、計画的に収集・整備し、活用することができた。

②レファレンスサービス（調べもの相談）の充実

事業概要	・図書館の蔵書や雑誌・新聞記事データベースなどを使い、市民の調べものに必要な図書を探す調査支援の充実を図る。	
評価	A	評価理由
		・寄せられた照会に対応できる蔵書を備えるとともに、適切な資料を検索する技術を持つ職員の育成に努めた。

③図書館の環境整備

事業概要	・安全・快適にご利用いただけるよう施設環境を整備する。	
評価	A	評価理由
		・施設の老朽化により修繕箇所が増加傾向であるが、優先順位をつけ整備を行った。

(2) 重点事業の総括評価について

総括評価	評価理由
A	・利用者のニーズに応じた資料の充実や施設改修により、図書館サービス向上に取り組んだ。

(3) 個別事業の実施結果について

① 図書館蔵書の充実

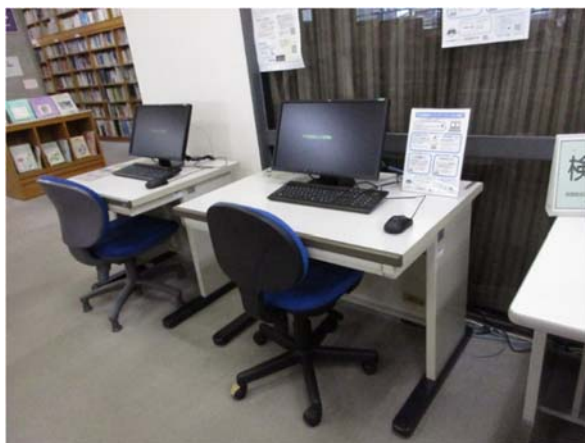
＜目的・概要＞	
・市民の多様なニーズに対応する図書、雑誌等の収集、活用、保存に努める。 ・テーマ展示等で蔵書の活用を図る。	
＜実績＞	
テーマコーナーの充実	
 ▲野本恭八郎と長岡の図書館 (6月8日の長岡市立図書館開館記念日にあわせて)	 ▲新潟県立歴史博物館コラボ展示 「日本の伝統美と技の世界」
・郷土のテーマコーナーを2カ所設置し、他施設とのコラボや、県内のイベントや出来事などにあわせ、資料の紹介に努めた。関連の未所蔵資料については、購入や取り寄せなども行った。 【郷土コーナーでの図書展示内容】 【4月】「江戸出版物」、近美コラボ展示「ガラス展」(～6/8)、【5月】「山」、科博コラボ展示「新収蔵資料展」、【6月】「野本恭八郎と長岡の図書館」、【7月】「前島密 生誕 190 年」、【9月】歴博コラボ展示「飴、糖、あめ」展(～10/19)、【10月】「中越地震」(～11/9)、【11月】歴博コラボ展示「日本の伝統美と技の世界」、科博コラボ展示「昆虫標本展」、【12月】「縁起物」、【1月】堀口九萬一 生誕 160 年	
＜課題・今後の方針＞	
・限られた予算の中で、後世に残すべき郷土資料の収集・保存に努める。 ・興味関心を持ってもらうため、紹介方法などを工夫しながら資料の有効活用にも努めたい。	

② レファレンスサービス（調べものの相談）の充実

<目的・概要>

- ・図書館の蔵書や雑誌・新聞記事データベースなどを使い、市民の調べものに必要な図書を探す調査支援の充実を図る。

データベース用パソコン



▲国会図書館が所蔵する絶版資料を検索・閲覧できるインターネットサービスを利用し、調査の幅が広がる

新潟日報マイクロフィルム



▲戦前（昭和2年～16年）の新潟新聞・新潟日日新聞と、昭和17年創刊～平成22年の新潟日報は、マイクロフィルムで閲覧可能

<実績>

- ・令和7年度は54件のレファレンスを受け付けた（令和8年3月31日現在 回答に期間を要するもので、簡易的な内容のものは含まない）。※令和6年度：52件
- ・当館所蔵資料のほか、外部データベース、県立図書館郷土人物データベース、国立国会図書館レファレンス協同データベース、国立国会図書館デジタル化資料送信サービスなど様々なレファレンスツールを活用して調査した。また、市外図書館等関係機関に調査協力を依頼して回答に努めた。

<レファレンスの一例>

- ・竹之高地の不動尊の伝説について知りたい
- ・麻、芋のつく地名を研究、種芋原の地名の由来
- ・サフラン酒造創業者吉澤仁太郎について柏崎との所縁について（柏崎市立図書館より照会）
- ・三国街道の長岡宿から信濃川を渡って与板宿に至る道筋について

<課題・今後の方針>

- ・レファレンスについては、郷土に関する問い合わせが多いことから、引き続き郷土資料の収集に努め、職員同士の情報共有や研修を通じてスキルアップを図れるようにしていきたい。また、利用者自らが必要な情報を得ることができるよう、資料の配置や館内表示、ホームページ等を見やすく工夫するなどし、利用しやすい図書館を目指したい。

③ 図書館の環境整備

<目的・概要>

- ・図書館を安全・快適にご利用いただけるよう施設の改修等を行う。

<実績>

- ・日常の点検や利用者のご意見等から必要なものを選び、優先順位を付け整備・改修を行った。

○中央図書館

- ・中央図書館照明器具LED更新工事
- ・消防・防火設備修繕 等

○地域館

- ・北地域図書館
- ・正面入口自動ドア修繕



▲LED更新工事（2/1 現在）
美術センター作業状況



▲LED更新工事（2/1 現在）
講堂作業状況

<課題・今後の方針>

- ・図書館利用者が安心、安全に利用できるよう、限られた予算の中で優先順位をつけ、順次修繕していく。

3 積極的な広報や各種機関などとの連携を進め、本と人をつなぐ、様々な事業を実施し、利用者の拡大を図る。

(1) 重点事業の事業別評価について

① 広報について

事業概要	・長岡市や図書館ホームページ、広報誌、SNS を利用し、積極的な広報を行う。	
評価	A	評価理由
		・ホームページやFacebook への投稿回数は昨年度とほぼ同程度に行い、図書館PR動画をホームページなどで公開し、図書館の認知度向上を図った。

② 各種機関と連携した事業の実施

事業概要	・他の施設と連携して事業を行うことで、PR の相乗効果を狙う。	
評価	A	評価理由
		・他の機関とのコラボ展示を行うことで、講演会チラシ等に図書館の関連図書展示コーナーの情報掲載等、互いの事業をPRすることで、利用促進と周知を図った。米百俵号の特別巡回を実施し、館外での活動を強化することにより、図書館や読書普及活動に努めた。

③ 地域館における特色資料や地域の特色を生かした事業の実施

事業概要	・特色資料に関連した、または地域の施設・学校などと連携した事業を継続し実施する。 ・調べる学習コンクールなど図書館資料を活用した事業を展開する。	
評価	A	評価理由
		・各地域図書館が持つ特色資料の関連事業のほか、近隣の学校と連携した事業を計画し、工夫して実施した。 ・「図書館を使った調べる学習コンクール」の事前説明会で作品作りに着手したことで、よりスムーズにすすめられるようになり、コンクール応募につながった。

(2) 重点事業の総括評価について

総括評価	評価理由
A	・広報や事業については、投稿回数は昨年度とほぼ同程度に行い、広報活動や館外活動を通して、図書館の認知度向上を図ることができた。

(3) 個別事業の実施結果について

① 広報について

＜目的・概要＞	
(1) 図書館ホームページ、Facebook など広く広報を行い、来館者の増加を図る。 (2) テレビ・ラジオなどへの出演や新聞・雑誌への寄稿により図書館のPR 活動を行う。	
様々な媒体で図書館をPR 	図書館 PR 動画 6,000 回再生達成  ▲夜の図書館に迷い込んだ大学生が、謎の指令を解きながら将来の夢を見つけるハートフル・ストーリー
＜実績＞	
(1) 年代別の図書館報を発行した。 一般向け「図書館の窓から」、中高生向け「WE ‘ RE YOUNG-J I N」、児童向け「としょかんくん」 (2) 図書館ホームページ、長岡市ホームページ、Facebook、LINE、こめぷら など広く広報を行った。 ① 図書館ホームページ更新回数 161 回 (R7.4.1～12.31) ② フェイスブック更新回数 100 回 (R7.4.1～12.31) リーチ数最大：【中央館テーマコーナー「認知症」】624 件 (3) 報道リリースを行い、取材や周知の依頼を行う。また、PR 動画を公開し、広報活動を広げた。 図書館 PR 動画公開：図書館ミステリー動画「大切なものは？」：6,434 回再生（総再生回数） ※令和8年5月4日現在 7,932 回再生	
＜課題・今後の方針＞	
・情報発信回数を増やし、内容を工夫することで、来館者の増加につなげる。 ・新聞・ラジオ等マスコミに露出することで、図書館の認知度向上を図る。	

② 各種機関と連携した事業の実施

＜目的・概要＞	
(1) 他の行政機関等が実施する企画と連携し、お互いの利用の相乗効果を図る。 (2) 図書館外で、図書館の利用促進を目的とした事業や PR 活動を行う。	
障害者週間・アールブリュット作品展示  ▲福祉施設などの利用者の方がデザインした傘をバリアフリーコーナーに展示	県立近代美術館で絵本の読み聞かせ  ▲安野光雅展の会場で絵本の読み聞かせや、美術館エントランスで本の貸出を実施
＜実績＞	
(1) 連携展示 ○図書展示（主なもの） ・健康増進課「がん情報・検診のすすめ」（5・6月）、「食育」（6・7月）、「こころの健康」（9月、3月） ・長寿はつらつ課「認知症ブックフェア」（9月） ・産業支援課「まちゼミ」（9・10月、1・2月） ・福祉課「障害者週間」（12月） ・万代島美術館他「絵本作家特集」（4・5月） ・近代美術館「オバケ？展」（9・10月） ・栃尾美術館「金澤翔子の世界展」（7・8月）、「宇宙の旅」（10・11月） ・科学博物館「なつかしのおかし」（10～12月） ・市内高等学校他「POPで紹介 みんなのおススメ本！」（12～2月） ○企画展示 ・読書バリアフリーコーナーにてアールブリュット作品（障害者制作傘）の展示（12・1月） (2) 図書館外での活動 ○米百俵号の特別巡回 ・新潟県立近代美術館…企画展「津和野町立安野光雅美術館コレクション 安野先生の不思議な学校」の開催に際し、本の貸出及び職員による絵本の読み聞かせを実施した。 ・すこやか・ともしびまつり…読書バリアフリーに関連した本を展示した。拡大読書器体験やリーディングトラッカー作成体験を実施した。 ・聾学校…米百俵号で年2回訪問を行った。	
＜課題・今後の方針＞	
・他の機関と連携することでイベントチラシに図書館の情報を掲載してもらう等、互いの事業をPRすることができた。関連本の展示のみにとどまらず、アールブリュット作品展示や中高生のPOP作成のような発展した取り組みを今後も行っていきたい。また、米百俵号及び米百俵号ミニを活用したイベント等への巡回を通して、図書館や読書活動の普及に努めた。今後も連携を継続し、新たな利用者層の獲得を図りたい。	

③ 地域館における特色資料や地域の特色を生かした事業の実施

＜目的・概要＞	
・特色資料に関連した、または地域の団体や学校などと連携した事業を継続し実施するほか、図書館資料を活用した事業を展開する。	
○特色資料に関連した、または地域の団体や学校などと連携した事業	
北前船をつくろう	長岡農業高校出張園芸教室～苔玉作り～
 ▲段ボールと障子紙で北前船を作って船に飾り付けを行い、特色資料北前船に関するクイズにも挑戦した（寺泊地域図書館）。	 ▲長岡農業高校生活環境科・生活デザインコースの先生1名と生徒3名が講師となり、苔玉作りを指導してもらった（南地域図書館）。
＜実績＞	
○寺泊地域図書館 ・北前船をつくろう！（11月2日） ○南地域図書館 ・醸造の町 摂田屋歴史さんぽ（9月23日） ・長岡農業高校 出張園芸教室（11月12日） ○北地域図書館 ・花いっぱいになあれ（4月26日～8月30日） 1回目 4月26日～ 5月 3日 朝顔の種プレゼント 2回目 6月 1日～ 6月15日 ぬりえ配布・募集 6月16日～ 7月30日 ぬりえ展示 3回目 7月 1日～ 7月19日 スマイルピック募集 7月11日～ 8月30日 スマイルピック展示 ○栃尾地域図書館 ・まち歩き栃尾散策（10月28日） ・栃尾美術館のイベントにあわせた関連図書のコーナー展示 「言霊の墨 金澤翔子の世界展」、「写真展 138 億光年宇宙の旅」 ○南・中之島・栃尾地域館 ・科学博物館企画展「なつかしのおかしとおさべ菓子店」にあわせ関連図書のコーナー展示 ○中之島地域図書館 ・昆虫標本展示（8月1・2日、9月10日～10月13日） ・迎春ミコ風展示（令和8年1月4日～1月30日） ○西地域図書館 ・信濃川写真展（7月1日～7月30日）	

<課題・今後の方針>

学校や図書館周辺の施設と連携を取るなどして、今後も図書館資料を活用した事業を展開する。

○図書館資料を活用した事業（図書館を使った調べる学習コンクール in 長岡）

事前説明会



▲実際に作品作りを始める説明会を行った北地域図書館の様子

表彰式の様子



▲月末休館日の北地域図書館を会場に表彰式を行った。

<実績>

○事前説明会

中央図書館会場 7月20日 低学年2人、高学年6人

北地域図書館会場 7月21日 4人 7月27日 5人

○第14回 図書館を使った調べる学習コンクール in 長岡

・作品募集（9月2日～10月5日）

市内25校の児童から80作品の応募があった（昨年度：30校 108作品）。

・審査会（10月28日）

審査員：長岡市三島郡小学校学校図書館協議会委員の3名の校長先生と中央図書館長補佐
低学年・中学年・高学年ごとに最優秀賞と優秀賞を各1作品選出。

全学年の作品から審査員特別賞を1作品、中央図書館特別賞1作品選出、秀作賞15作品を選出。

・表彰式（11月30日）

会場：北地域図書館 ※月末休館日に開催

受賞した児童8名が出席し、表彰状と表彰楯を贈呈した。

全国コンクールに最優秀賞の低学年と高学年の作品2点を出品し、2作品ともに佳作を受賞した。

<課題・今後の方針>

- ・今年度は低学年と高学年に分かれた説明会を中央図書館で行い、北地域図書館では実際に作品を作り始めた。来年度は作品応募につながる説明会を複数館で行えるようにしたい。
- ・今年度は上位入賞の候補作品を秀作賞として、より多くの子どもたちの作品を評価した。今後も作品作りの励みになるようにし、学校にも働きかけることで応募数を増やし、全国コンクールへ推薦する数を増やしたい。

4 長岡市子ども読書活動推進計画に基づき、子どもや若者が本に親しむ環境づくりに取り組む。

(1) 重点事業の事業別評価について

① 子ども読書活動推進計画関連事業の実施

事業概要	・令和5年3月策定「第三次長岡市子ども読書活動推進計画」に基づき、子どもの読書環境を整え読書機会の増進を図るための事業として実施する。	
評価	A	評価理由
		・読み聞かせボランティアや学校関係者の活動に役立つ講座を実施し地域全体で子ども読書活動を推進する支援を行うことができた。 ・よもよも大賞の投票方法を工夫したことで投票数が増えた。

② 子ども向け図書館サービスの充実

事業概要	・ゴールデンウィークや夏休み等を利用して、子どもたちが読書を始めるきっかけとなり、図書館や本に親しむことができる行事を行う。	
評価	A	評価理由
		・恒例の「サマーチャレンジ」を開催、図書館や本に親しむ機会を提供した。 ・学生が参加しやすい春休みに謎解きイベントを実施、新規に親子向け英語読み聞かせイベントを実施するなど積極的に行事を行った。

③ 学校等への図書館サービスの実施

事業概要	・図書館から遠い地域にある小学校への米百俵号の巡回や、学級文庫として活用してもらう学校配本、授業用の本の貸出など、学校図書館の蔵書を補う。	
評価	A	評価理由
		・小中学校や児童館等に図書を設置、プラットフォーム「こめぼら」等で広報することで、読書環境の整備を行った。

(2) 重点事業の総括評価について

総括評価	評価理由
A	・子ども読書推進活動の充実を図るため、内容に工夫を凝らして、各種イベント等の実施に取り組むことができた。

(3) 個別事業の実施結果について

① 子ども読書活動推進計画関連事業の実施

＜目的・概要＞	
令和5年3月に策定した「第三次長岡市子ども読書活動推進計画」に基づき、子どもの読書環境を整え、読書機会の増進を図るための事業として実施する。多くの事業を展開する中で、今年度は次の事業を取り上げ評価する。 1. 初心者向け読み聞かせ講座・読み聞かせボランティア養成講座の実施 2. 「長岡の子ども 100 冊」活用事業（継続）	
読み聞かせボランティア養成講座	よもよもブックス
	 ▲よもよも大賞結果発表会を初開催
＜実績＞	
1 読み聞かせボランティア養成講座 初心者向け読み聞かせ講座 日 時：令和7年6月24日（火）、7月1日（火）午前10時～11時30分 内 容：絵本の選び方や読み聞かせの大切さなどについて学び、実践編として絵本を実際に使った演習を行った。 また、赤ちゃん絵本のかかわりやブックスタートについて学んだ。 講 師：中央図書館司書職員 参加者 25 人（※両日同じ参加者） 2 「長岡の子ども 100 冊」活用事業（継続） 令和3年度末に選定した、乳幼児から中学生まで年代別おすすめ本リスト「よもよもブックス」（長岡の子ども 100 冊）について、昨年度に引き続き、周知・活用事業に取り組んだ。 ① ブックリストを市内小中学生に配布 ② 市内全館でよもよもブックス常設コーナーを設置 ③ 本の人気投票「第4回 よもよも大賞」の実施 従来のインターネット投票に加えて、第4回から長岡市内の図書館・まちなか絵本館・米百俵号、上組小学校で投票を受付けた。3,954 票の投票があり、投票数は上昇した。 1月12日に「第4回よもよも大賞結果発表会＆おはなし会」を実施した。 ④ 団体向けセット貸出「よもよも BOX」の実施 ⑤ 背表紙ラベルを配布し、学校・保育園などでの活用を支援	

⑥ 各学校へのブックトークでよもよもブックスを紹介

よもよもブックスを活用することで、年齢に応じた本の紹介を行うことができた。また、保育園・学校等の希望に応じて、よもよもブックスセットの貸出・運搬や、団体所有の本に貼るラベルを配布。施設内でのよもよもブックスコーナー設置を支援し、読書環境の整備に寄与することができた。

<課題・今後の方針>

- ・ボランティアの育成・拡充を継続的に行う必要がある。
- ・子どもの年齢に応じた本の紹介を引き続き行いたい。来館者だけを対象とするのではなく、園や学校を通じて、より大勢の子どもたちや子どもと関わる大人に対し、働き掛けを行っていききたい。

② 子ども向け図書館サービスの充実

<目的・概要>

1. ゴールデンウィークや夏休みを利用し、全館共通行事を行う。
2. 中央館独自で図書館に親しんでもらうような行事を行う。

一日図書館員



◀本の整理に挑戦



本の装備に挑戦▶

図書館版☆謎解きゲーム



▲学生が参加しやすいように春休みに実施した図書館版☆謎解きゲーム

<実績>

■一日図書館員（仕事を体験しながら図書館に親しんでもらう。）

「こどもの読書週間」に関連し、5月10・11日に実施。館内見学、本返し体験、本のコーティング体験などを行った。参加人数：30人（全館）

■としょかんサマーチャレンジ（「熱中！感動！夢づくり教育事業」の一つとして、乳幼児から小学生を対象に実施。）

夏休みに合わせ、期間中に本を30冊読むことを目的とする「めざせ30冊コース」と、図書館に親しむことを目的とする「チャレンジコース」の2種類を用意。それぞれの達成者には賞状や記念品をプレゼント。読む本は、市内図書館ほか学校図書館や家庭の本でも可能で、家庭での読書が主となるもの。

期間：夏休み（7月12日～9月2日）

「めざせ30冊コース」30冊達成：269人

「チャレンジコース☆としょかん de ビンゴ！」716人

夏休みの恒例行事として定着し、今年度も子どもたちが熱心に取り組む姿が見られ、読書や課題を解決した達成感を得ることができた。

■図書館版☆謎解きゲーム あなたも図書館ミステリー！！（謎解きゲームを実施することで、図書館の利用を図る。小・中・高校生を対象に実施。）

「秋の読書週間」に合わせ実施していたが、今年度は学生が参加しやすいように、春休みからゴールデンウィークにかけて（令和7年3月18日～5月6日）実施。参加者数：338人

■わくわく！英語絵本の読み聞かせと工作（小学校低学年と保護者を対象に英語絵本の読み聞かせと工作を行うイベントを初開催。）12月7日に実施。参加人数：15人

普段は触れることの少ない英語絵本について楽しく学ぶことができた。

■としょかんくん（長岡市内の全小学生に配布。図書館の事業や本などを紹介）

令和7年度は1年生号（4月22日発行）、No.180（7月1日発行）、No.181（11月1日発行）の年3回発行。

<課題・今後の方針>

- ・子どもたちと本をつなぐための子ども向け行事が、その後の継続的な図書館利用につながるよう、工夫を凝らして継続していくことが必要。

③ 学校等への図書館サービスの実施

<目的・概要>

- ・読書週間等に小学校を訪問し、年代に合ったおすすめの本を紹介するブックトークを実施。
- ・図書館から遠い地域の小学校に米百俵号で巡回し、本の貸出や読み聞かせを実施。
- ・希望する小・中学校・児童会館に学級文庫として使える本を貸出・配送。
- ・児童発達支援事業所および放課後等デイサービス事業所を対象に、図書の貸出・配送を行う「児童書セット貸出」を実施。
- ・「米百俵号ブックカーニバル」では、夏休み期間に児童館・児童クラブを訪問し本を貸出。
- ・「授業用図書セット貸出」小・中学校で授業に使用する本を 35 冊まで 1 か月間貸出。



▲様々な特性を持つ子どもたちを支援する施設へ児童書を配達（放課後等デイサービスへの貸出）



▲夏休み期間中、米百俵号から本を選ぶ子どもたち（米百俵号ブックカーニバル）

<実績>

- 【ブックトーク】 小学校 公演数： 19 回 参加者数： 980 人
- 【米百俵号による巡回】 小学校 訪問数： 24 校 回数：年 8 回ずつ
- 【学校配本】 聾学校幼（1 校）8 箱、小学校（49 校）1,139 箱 中学校（5 校）42 箱
高等総合支援学校（1 校）36 箱
- 【児童書セット貸出】 児童会館（27 館）125 箱
- 【放課後等デイサービス事業所】（10 施設）36 箱
- 【米百俵号ブックカーニバル】 夏休み中のイベントとして児童会館や児童クラブから毎年好評
（今年度実績） 8 回実施 参加者数： 330 人 貸出冊数： 578 冊
（昨年度実績） 8 回実施 参加者数： 230 人 貸出冊数： 505 冊
- 【授業用図書セット貸出】 73 件（全館分）（R8 年 3 月現在）

<課題・今後の方針>

- ・米百俵号での訪問や学校でのブックトーク・おはなし会等を行いながら、今後も事業を継続したい。
- また、米百俵号ミニを活用した事業を行いたい。

5 互尊文庫の独自運営方針を尊重し、資料面や運営面の協力を行う。

(1) 重点事業の事業別評価について

① 資料面、運営面の協力

事業概要	・「新しいスタイルの図書館」を掲げる互尊文庫の運営方針を尊重し、市内図書館と一緒に連携する。	
評価	A	評価理由
		・互いに協力し合う体制をつくり、互尊文庫の運営に協力した。

(2) 重点事業の総括評価について

総括評価	評価理由
A	・互いに協力し合う体制をつくり、資料提供と運営面での協力を行った。

(3) 個別事業の実施結果について

＜目的・概要＞	
・レファレンスでの資料提供、テーマ展示等の資料提供、図書館情報ネットワークや本の物流を含めたスムーズな運営のための協力を行う。	
＜実績＞	
・落花生の育て方など、受付けたレファレンスの内容から互尊文庫内の資料では提供できる情報量が少ないため、中央図書館、地域図書館から資料提供を行い課題解決と貸出に結び付けた。	
＜課題・今後の方針＞	
・互尊文庫は4万冊という少ない蔵書数であり、レファレンスの内容やテーマ展示によっては対応できないケースが今後も発生する。見通しを持って連携し、互尊文庫での本との出会いがより充実するように協力したい。	

6 市民の要望・意見を広く取り上げ、図書館運営に反映させる。

(1) 重点事業の事業別評価について

①利用者アンケートの実施

事業概要	・毎年夏期にアンケートを実施し、利用者のニーズを把握することにより、運営に役立てる。	
評価	A	評価理由
		・昨年度より回答数が増加したことから、利用者のニーズをより把握し、活かすよう努めた。

②友の会事業

事業概要	・利用者が集い、読み聞かせや書架整理などの様々な活動を通じて、図書館を支援いただく。	
評価	A	評価理由
		・新たに会員発案の絵本クリーニングを3回実施し、事務局も適切な支援を行った。

(2) 重点事業の総括評価について

総括評価	評価理由
A	・概ね順調な業務・活動を行っており、寄せられた意見に対応した。

(3) 個別事業の実施結果について

① 利用者アンケートの実施

＜目的・概要＞	
・例年どおり実施し、昨年度との比較や現状の利用者の意見を把握する。	
【中央図書館】 ＜利用者アンケート＞ ○ 窓口の対応について ○ セルフ貸出機について ○ スマホ貸出カードについて ○ 電子書籍の導入について ○ インターネットサービスについてなど	【地域図書館】 ＜利用者満足度アンケート＞ ○ スタッフについて 挨拶や言葉づかい、接客対応など（3項目） ○ 施設の快適さについて 設備、分かりやすさ、案内情報（4項目） ○ 図書館サービスについて 資料の充実、展示物などについて（5項目）
＜実績＞	
○中央図書館のアンケート（8月19日～30日） 窓口では、平日のみ貸出しカウンターで配布したため、回収枚数が増加した。窓口対応については、「大変よい」＋「よい」が79.1％と昨年度の83.6％に比べて評価が減少した。 （今年度実績） 紙用紙：611件 Web：174件 （昨年度実績） 紙用紙：520件 Web：164件 ・窓口対応については毎年御意見をいただくため、一層注意を払うよう心がける。 ・セルフ貸出機の利用率は約70％。昨年度に比べて上昇した。スマホ貸出カードの利用率は約25％。今後さらなる周知を図る。 ○地域図書館のアンケート（7月27日～8月12日）※中之島館のみ7月27日～8月2日 （今年度実績） 配布数：1,003件 回収数：729件 回収率：72.6％ （昨年度実績） 配布数：1,092件 回収率：748件 回収率：68.5％ ・今年度は8月3日から中之島地域図書館が空調故障のため臨時休館となり、例年より配布数、回収率が減少した。 ・「フリーWi-Fiが利用できるようにしてほしい」「川西地域にもう一つ図書館がほしい」などの要望があがっていた。 ・互尊文庫からの本のコーナーやテーマコーナーを楽しみにされている声もあった。	
＜課題・今後の方針＞	
【中央図書館】 図書館の利便性についての要望が多くあった。改善に向けて取り組む。 【地域図書館】 探している資料がを見つけやすく、利用しやすい環境づくりに引き続き取り組んでいく。	

② 友の会事業

<目的・概要>

- ・図書館支援団体として、図書館と連携し、活動を運営に生かす。

<実績>

- ・図書館活動の応援につながる取組として、活動を継続していきたい。
(今年度実績)
- ・総会
- ・友の会映画会
 - ①7月30日(水) 午後2時～4時 来館者：21人
友の会会長：野上純嗣監督・製作作品『カリフラワーにほだされて 戦火・夏 1945-2025』(約120分)を上映。
 - ②12月26日(金) 午後3時30分～4時30分 来館者：14人 友の会会長：野上純嗣氏
監督・製作作品『すみつぐのつぐ 昭和一〇〇年(DVD版)』(約40分)を上映。
- ・絵本のクリーニング作業
中央図書館所蔵の絵本について、クリーニング作業を3回実施した。
 - ①7月22日(火) 参加者：12人
 - ②9月22日(月) 参加者：8人
 - ③10月20日(月) 参加者：6人
- ・書架整理、布絵本の会、読み聞かせボランティア、つぐみの会、会報作成 など
- ・個人会員：28人 賛助会員：2口



▲映画会



▲絵本のクリーニング作業

(昨年度実績)

総会、視察研修、友の会映画会、書架整理、布絵本の会、つぐみの会 など
個人会員：27人 賛助会員：3口

<課題・今後の方針>

- ・会員が主体となった企画・運営の取組みへの支援を行い、魅力的な図書館サービス・イベントを行うことで、幅広い世代の新規会員の加入促進につなげたい。

7 勉強会や職場内研修をはじめ様々な研修機会を確保し、図書館職員の資質の向上を図る。

(1) 重点事業の事業別評価について

① 外部研修・遠隔研修

事業概要	県立図書館主催の研修等に職員を参加させ、また研修で得たことを職員間で共有し、図書館職員としてのスキルアップを目指す。	
評価	A	評価理由
		研修に参加し、情報の共有を図り、職員のスキルアップを図った。

② 職場内研修

事業概要	職員全体での研修会を行い、職員全体の資質の向上を図る。	
評価	A	評価理由
		- 中央図書館では、新人保育士を対象とした読み聞かせ講座に講師を派遣した。また、職員全体のスキルアップのため、係内研修を実施した。 - 地域図書館では、緊急な場合に慌てずに対応できるよう AED 研修を行い、児童研修で紙芝居講座を行い実践につながった。

(2) 重点事業の総括評価について

総括評価	評価理由
A	外部研修・職場内研修ともに予定どおり実施し、成果を上げることができた。

(3) 個別事業の実施結果について

① 外部研修・遠隔研修

<目的・概要> ・新潟県立図書館などが主催する研修に職員を参加させ、また、研修で取得したことを職員間で共有し、図書館職員のスキルアップを目指す。 ・地域図書館では、県立図書館主催の外部研修に今年度もできる限り参加し、各館内で情報を共有する。
<参加研修> ①新潟県公共図書館新任職員研修会 6月3・4日(中央館2人) *②障害者サービス研修(第1回) 6月24日(中央館11人) *③関東地区公共図書館協議会研究発表大会・新潟県公共図書館総合部門研究集会 7月10日・11日(中央館3人) *④学校図書館等における読書バリアフリー公開シンポジウム 8月12日(中央館6人) *⑤読書のバリアフリーをすすめるために 8月21日・22日・25日・26日・27日・28日・29日・9月1日・4日・30日・10月1日・29日(中央館25人、地域館11人) *⑥子ども読書レベルアップ研修「学校活用編」 8月27日(中央館3人、地域館4人) *⑦北陸地区公共図書館職員研修科会 9月26日(中央館1人) *⑧新潟県公共図書館中堅職員研修会 10月10日(中央館2人、地域館1人) *⑨子ども読書レベルアップ研修「家庭普及編」10月17日(中央館3人、地域館2人) *⑩障害者サービス研修(第2回) 10月24日(中央館3人) *⑪新潟県公共図書館児童部門研究集会 11月12日(中央館2人、地域館1人) *⑫医療情報研修 11月13日(中央館2人) ⑬障害者サービス研修(第3回) 11月19日(中央館1人) ⑭郷土レファレンス研修 11月25日(中央館3人、地域館6人) *⑮認知症バリアフリー図書館特別検討チーム研修会 12月4日(中央館1人) ⑯落語絵本ハートフル講座 12月12日(中央館1人) *⑰関東・甲信越静地区図書館地区別研修 12月16日・17日・19日(中央館1人) *⑱全国公共図書館研究集会【サービス部門】 2月(中央館7人) 【児童・青少年部門】1月4、6日(地域館1人) ⑲新潟県公共図書館職員専門研修会 2月(中央館1人) *はオンライン研修
<実績> (今年度実績) 中央図書館：78人参加 地域図書館：26人参加 (昨年度実績) 中央図書館：103人参加 地域図書館：19人参加 ・中央図書館では、オンライン研修に参加し、先進地の事例や最新の機器、サービスの動向情報を得ることができた。部門会議等で情報共有し、今後の業務に活かしたい。 ・地域図書館では、オンデマンド研修などを使い、受講する機会を増やすようにした。
<課題・今後の方針> ○中央図書館 外部研修の成果(情報)を職員間で共有し、業務改善に取り組み、長岡市の事業としてどう反映させるか検討していく必要がある。

○地域図書館

県立図書館主催の外部研修には今後も継続して参加していきたい。勤務人数の都合上、全館平等に参加することが難しいが、希望する研修が受講できるようヘルプ体制をとって対応したい。

② 職場内研修

<目的・概要>

- ・係内研修や、外部研修に派遣された職員が講師となり研修報告会を行うことで、職員の資質や専門性向上・情報共有を図る。
- ・各種研修に当館職員を講師として派遣する。
- ・地域図書館ではスタッフの能力育成のため、図書館員としての知識やスキルを向上させる地域館合同研修を行っている。また、研修の機会を増やすためにオンライン研修を取り入れる。

<研修内容>

○中央図書館

- ①保育士向け読み聞かせ講座 7月7日（講師2人派遣）
- ②人権配慮にかかわる取扱注意資料研修会 3月17日～19日（奉仕係全員、地域館1人参加）
- ③マイクロフィルム・データベース取扱い研修

○地域図書館

- ①MARC研修 検索セミナー 4月16日（1人参加）
- ②長岡全体研修 5月31日（32人参加）
普通救命講習会（AED研修）5月31日（32人参加）
- ③長岡全体研修 10月31日（32人参加）
紙芝居講座（講師：紙芝居塾 今井和江氏 堤貞子氏）
- ④TRCレベルアップ研修 10月28日・12月9日（各1人参加）
- ⑤TRCステップアップA研修 1月19日（1人参加）
- ⑥TRCステップアップB研修 1月20日（2人参加）、2月3日（1人参加）
- ⑦TRC新人研修 2月28日（3人参加）
- ⑧個人情報保護研修 （32人参加）

<実績>

- | | | |
|---------|------------|------------|
| （今年度実績） | 中央図書館：3回実施 | 地域図書館：8回実施 |
| （昨年度実績） | 中央図書館：4回実施 | 地域図書館：9回実施 |
- ・中央図書館では、人権配慮にかかわる取扱注意資料研修や著作権についての勉強会を実施する予定。
 - ・地域図書館では、資料検索や郷土レファレンス研修のほか、児童サービスに関する技術向上の一つとして、全体研修で紙芝居講座を実施した。

<課題・今後の方針>

- ・中央図書館では、図書館事業をより充実させるため、サービス向上につながる研修を継続して行いたい。オンライン研修を取り入れ、より多くの職員のスキルアップを図りたい。
- ・地域図書館では、実践につながる研修を取り入れ、スタッフのスキルアップにつなげていきたい。